

Cloud Virtual Machine

製品の課金

製品ドキュメント



著作権声明

©2013–2026 Tencent Cloud. 著作権を所有しています。

このドキュメントは、Tencent Cloudが著作権を専有しています。Tencent Cloudの事前の書面による許可なしに、いかなる主体であれ、いかなる形式であれ、このドキュメントの内容の全部または一部を複製、修正、盗作、配布することはできません。

商標に関する声明



およびその他のTencent Cloudサービスに関連する商標は、すべてTencentグループ下の関連会社主体により所有しています。また、本ドキュメントに記載されている第三者主体の商標は、法に基づき権利者により所有しています。

サービス声明

本ドキュメントは、お客様にTencent Cloudの全部または一部の製品・サービスの概要をご紹介することを目的としておりますが、一部の製品・サービス内容は変更される可能性があります。お客様がご購入されるTencent Cloud製品・サービスの種類やサービス基準などは、お客様とTencent Cloudとの間の締結された商業契約に基づきます。別段の合意がない限り、Tencent Cloudは本ドキュメントの内容に関して、明示または黙示の一切保証もしません。

カタログ:

製品の課金

課金概要

課金モデル

課金項目

リザーブドインスタンス

Cloud Block Storage

CBSタイプ説明

CBS料金一覧

ディスクメディアの仕様変更による差額分の支払い

ネットワーク

パブリックネットワーク課金方式

パブリックネットワーク料金

パブリックネットワーク帯域幅の上限

パブリックネットワーク課金方式の変更

Elastic IPアドレス

課金モデルの変更

従量課金インスタンスから年額・月額への変更

サブスクリプション(月額・年額)インスタンスの契約型課金への変更

購入インスタンス

購入方法

価格一覧

購入説明

購入制限

仕様変更の料金説明

料金未払いに関する説明

製品の課金

課金概要

最終更新日: 2026-03-13 09:45:37

課金モデル

インスタンス

インスタンスによって使用するホストのハードウェア構成が決定されます。各インスタンスタイプでコンピューティング性能とストレージ容量が異なり、お客様が提供するサービスの規模に応じて、インスタンスのコンピューティング性能、ストレージ容量、ネットワークアクセス方式を選択できます。

基盤ハードウェアの違いに応じて、Tencent Cloudは現在、豊富なインスタンス仕様を提供しています。詳細については、[インスタンススペック](#)をご参照ください。

インスタンスの課金モデル

Tencent Cloudでは、CVM向けに5種類の課金モデルを提供しています: サブスクリプション(月額・年額)、従量課金、スポットインスタンス、リザーブドインスタンス、契約型課金。それぞれの利用シーンにおけるニーズに応じています。に適。詳細については、[課金モデル](#)をご参照ください。

ストレージ

Tencent CloudはCVMインスタンスにフレキシブルで経済的かつ使いやすい各種データストレージデバイスを提供しています。ストレージデバイス別にパフォーマンスと料金が異なり、さまざまなユースケースに適しています。ストレージは異なる次元によって、以下の数種類に分けることができます。

- ユースケースによって、システムディスクとデータディスクに分かれます。
- アーキテクチャによって、クラウドディスク、ローカル ディスク、COS バケットに分かれます。

Tencent Cloudでは現在、高性能CBS、汎用型SSD CBS、SSD CBS、拡張型SSD CBS、超高速SSD CBSなど、複数の [CBSタイプ](#) を提供しています。

CBS課金モデル

現在、CBSがサポートする2つの課金モデルは、サブスクリプション(月額・年額)と従量課金です。詳細については、[CBS課金モデル](#)をご参照ください。

ネットワーク帯域幅

Tencent Cloudが提供するすべてのプロバイダのアクセスは複数回線のBGPネットワークで、回線の品質を保証しています。

ネットワーク使用量には、トラフィック課金と帯域幅課金の2つの課金方法があります。

- 帯域幅課金: パブリックネットワークの転送速度 (Mbps単位) によって課金されます。帯域幅使用率が10%を超える場合は、帯域幅に基づいて課金する帯域幅課金方式を選択することをおすすめします。

- **トラフィック課金**: パブリックネットワークで伝送されたデータ量 (GB単位) によって課金されます。帯域幅使用率が10%未満の場合、トラフィックに基づいて課金するトラフィック課金方式を選択することをおすすめします。

ネットワーク課金の詳細情報については、[パブリックネットワーク課金モード](#)をご参照ください。

イメージ

イメージを使用すると、一定の料金が発生します。各タイプのイメージ料金は次のとおりです。課金の詳細については、[イメージの請求]をご参照ください。

イメージタイプ	説明
パブリックイメージ	オープンソースイメージと商用イメージを含みます。 <ul style="list-style-type: none">● オープンソースイメージを使用する場合、ライセンス料を支払う必要はありません。● 商用イメージを使用する場合、一定のライセンス料が発生します。
カスタムイメージ	カスタムイメージの課金は、次の2種類の料金で構成されます: <ul style="list-style-type: none">● スナップショット料金: イメージはCBSのスナップショットサービスを使用しているため、カスタムイメージを保持すると、スナップショット料金が発生します。中国本土には 80GBの 無料枠 が提供されます。使用量が80GBを超えた分は、従量課金となります。詳細については、スナップショットの請求をご参照ください。● イメージ料金: カスタムイメージのソースが有料イメージである場合、そのカスタムイメージを使用すると料金が発生します。
共有イメージ	共有イメージは、作成されたカスタムイメージを他のTencent Cloudアカウントに共有したものです。共有イメージのソースが有料イメージかである場合、そのカスタムイメージを使用すると料金が発生します。

製品料金

[料金計算ツール](#)を利用して、必要な各製品の組み合わせ価格を確認でき、リソースコストの見積もりを行えます。また、対象製品を検討リストに追加し、ワンクリックで購入することもできます。

📌 注記:

価格の正確性を確保するため、ログインしてから料金計算ツールの詳細を確認してください。

課金モデル

最終更新日: 2025-12-17 15:33:52

課金モデルの概要

Tencent Cloudでは、サブスクリプション(月額・年額)、従量課金、スポットインスタンス、リザーブドインスタンス、および契約型課金の5種類のCVM購入方式を提供しています。それぞれ異なるシナリオのニーズに適しています。

下表は、5種類の課金モデルの違いを示しています。

インスタンスの課金方法	年額・月額課金	従量課金	スポットインスタンス	リザーブドインスタンス	契約型課金
支払方法	前払い	購入時に費用を凍結し、1時間ごとに清算	購入時に費用を凍結し、1時間ごとに清算	前払い	前払い
課金単位	米ドル/月	米ドル/秒	米ドル/秒	米ドル/年	米ドル/月
最低利用時間	少なくとも1ヶ月使用	秒単位で課金、1時間毎に清算。いつでも購入してリリースできます	秒単位で課金し、時間単位で請求します。いつでも購入および返金が可能ですが、システムにより強制回収される可能性があります。 注意: スポットインスタンスがシステムにより強制回収される際、インス	少なくとも1年間利用します	少なくとも1年間利用します

			タンスのデータは保持されません。使用時はデータのバックアップ等の保護対策を行ってください。スポットインスタンスの詳細は スポットインスタンス をご参照ください。		
インスタンス構成の変更	いつでも仕様変更（スケールアップ/ダウン）が可能です。各CVMインスタンスのスケールアップは無制限ですが、スケールダウンは5回までです。詳細は インスタンス構成の変更 をご参照ください。	制限なし。構成はいつでも変更できます	構成の変更はサポートされていません	構成の変更はサポートされていません	構成の変更はサポートされていません

ユースケース	長期的に安定したデバイス需要を持つ成熟したビジネス向け	eコマースでの買い占めなど、デバイスの需要が瞬間的に大きく変動するシナリオに適しています。	ビッグデータコンピューティング、ロードバランシングを使用したオンラインサービス、Webサイトサービスなどのシナリオに適しています	従量課金インスタンス料金に比べて大幅な割引が適用されるリザーブドインスタンスは、柔軟性、高コストパフォーマンスの完全な両立を実現し、デバイス需要量が長期的に安定している成熟した業務に適しています	リソース需要の予測が確定しており、長期的かつ安定した成熟したワークロードに適しています。
課金方式の変換	契約型課金に変更できません。詳細は サブスクリプション(月額・年額)インスタンスの契約型課金への変更 をご参照ください。	サブスクリプション(月額・年額)に変更できません。詳細は 従量課金インスタンスのサブスクリプションへの変更 をご参照ください。	この課金モデルは他の課金モデルに変更できません。	この課金モデルは他の課金モデルに変更できません。	この課金モデルは他の課金モデルに変更できません。

サブスクリプション(月額・年額)

サブスクリプション(月額・年額)は、CVMインスタンスの前払いモードであり、少なくとも1か月分の料金を前払いで一括決済します。この支払いモードは、リソース需要を事前に予測できるシナリオに適しており、1時間あたりの平均価格は従量課金モデルよりも安価です。

課金ルール

サブスクリプション(月額・年額)のCVMインスタンスは、購入してから利用できます。ユーザーがプリペイド方式でクラウドサービスを購入した場合、システムはユーザーが選択したリソースハードウェア（CPU、メモリ、データディスクを含む）およびネットワーク料金に基づき、ユーザーのクラウドアカウントから相当額を差し引きます。インスタンス購入時に設定したリソースがすべてサブスクリプション(月額・年額)である場合、購入期間中に追加の引き落としは発生せず、期限が切れると、インスタンスは自動的に停止します。

そのため、ユーザーはクラウドサービスを購入する前に、クラウドアカウントの利用可能残高を確認してください。残高が差し引き金額を下回る場合は、チャージを行ってから購入してください。

価格説明

サブスクリプション(月額・年額)CVMの具体的な価格については、[製品価格](#)をご参照ください。

従量課金

従量課金は、CVMインスタンスの柔軟な課金モデルです。いつでもインスタンスの作成/削除が可能で、インスタンスの実際の使用量に応じて料金を請求します。課金の粒度は秒単位で、事前の支払いは不要であり、毎正時に決済が行われます。この課金モデルは、ECサイトのフラッシュセールなど、リソース需要が瞬間的に大幅に変動するシナリオに適します。サブスクリプション(月額・年額)より高くなります。

課金ルール

従量課金CVMインスタンスを作成する際、そのCVMの1時間分のハードウェア料金（CPU、メモリ、データディスクを含む）が事前に凍結されます。そして、毎正時（北京時間）に決済が行われ、過去1時間のCVMの実際の利用時間に基づいて料金が差し引かれます。購入時、CVMインスタンスの単価は時間単位で表示されますが、決済時は**実際の利用秒数**で計算され、費用は四捨五入して小数点以下2桁まで計算されます。課金の開始点はCVMインスタンスの作成完了時点、終了点はインスタンスの削除時点となります。

価格説明

従量課金CVMの具体的な価格については、[製品価格](#)をご参照ください。

費用凍結

従量課金のCVMを作成する際、システムは1時間分のインスタンス料金を凍結します。従量課金CVMの設定を変更した場合、インスタンス料金は凍結が解除され、新しく設定された単価に基づいて再度凍結されます。CVMインスタンスを削除すると、インスタンス料金は凍結が解除されます。

シャットダウン時の課金停止

条件を満たす場合、従量課金インスタンスをシャットダウンすると、インスタンス（CPU、メモリ）の料金を請求しなくなります。詳細は[従量課金インスタンス停止時の課金停止について](#)をご参照ください。条件を満たさない場合、シャットダウン後も通常通り課金が継続されます。

スポットインスタンス

スポットインスタンスは、CVMの新しいインスタンス運用モードであり、従量課金モードに似た後払い方式（秒単位の課金、毎正時決済）です。

価格説明

スポットインスタンスは市場連動型の変動価格を採用しており、市場の需給関係が変化すると、スポットインスタンスの価格も変動します。従量課金より割引率が高く、通常の価格は、従量課金の3% – 20%です。

強制回収

スポットインスタンスは、リソース在庫の減少や他のユーザーの入札競争により、システムによって **強制回収** される場合があります。

スポットインスタンスのポリシー、適用シナリオ、および制限については、[スポットインスタンス](#) をご参照ください。

リザーブドインスタンス

リザーブドインスタンス (RI) の課金は、前払い方式の一種です。実際の物理インスタンスではなく、ユーザーが使用する従量課金の物理インスタンスに適用される割引であり、本質的には従量課金モデルです。

課金ルール

従量課金インスタンスがリザーブドインスタンスの有効期間内にあり、かつ属性がリザーブドインスタンスと完全に一致する場合にのみ、割引を受けることができます。リザーブドインスタンスは従量課金モデルよりお得です。使用中の従量課金物理インスタンスとリザーブドインスタンスの属性が一致する場合、その従量課金物理インスタンスに割引が適用されます。既存のリソースインスタンスに基づいてRIを直接購入・適用することも、新規にRIを購入・適用することも可能です。

価格説明

一定のRI前払金を支払った後、購入した期間内で特定の割引を受けることができます。従来のサブスクリプション (月額・年額) および従量課金より、リザーブドインスタンスと従量課金インスタンスを組み合わせた課金モデルは、柔軟性とコスト優位性を両立させ、最大限の割引を提供できます。

契約型課金

ⓘ 説明:
契約型課金はクローズドベータ版の課金モデルです。利用をご希望の場合は、営業担当までお問い合わせください。

契約型課金は、CVMインスタンスのプリペイドモードの一種で、サブスクリプション(月額・年額)に似ていますが、より長期的で安定的なサービスを提供します。この支払い方式は、エンタープライズアプリケーションや大規模プロジェクトなど、リソースの安定した可用性を保証する必要がある長期的な定常需要のシナリオに適しています。

課金ルール

契約型課金では、購入時に1か月分の料金を前払いし、その後は月次で自動更新されます。システムはユーザーが選択したリソースハードウェア（CPU、メモリ、データディスクを含む）およびネットワーク料金に基づき、ユーザーのアカウントから相当額を差し引きます。CVM購入時の差し引き金額 = 申し込んだCVM台数 × CVM単価。

特徴説明

契約型課金の特徴は安定性です。この課金モデルでは、ユーザーは年単位で契約期間を固定し、1か月分の料金を前払いして月次で自動更新する必要があります。期間中のインスタンスの返金はできません。返金や他の課金モデルへの変更、および設定変更もサポートされません。

課金項目

リザーブドインスタンス

最終更新日: 2022-04-25 10:21:11

マッチングルール

リザーブドインスタンス(Reserved Instance RI) を購入し、リザーブドインスタンスの仕様と一致する従量課金インスタンスをすでに実行している場合、料金上の利点は即時適用されます。現在、リザーブドインスタンスは Windows、Linux OSで実行される従量課金インスタンスにのみ対応しています。アカウントの中にマッチングできる従量課金インスタンスがない場合、リザーブドインスタンスはアイドル状態になりますが、料金は発生しません。マッチング条件を満たす従量課金インスタンスを購入すると自動的にマッチングし、マッチングに成功すると、割引は従量課金インスタンスの請求に適用されます。

- 手動でリザーブドインスタンスと従量課金インスタンスのマッチング状態を管理することができません。
- リザーブドインスタンスの料金上の利点は、1時間あたり最大3600秒(1時間)のインスタンスの使用にも完全に適用されます。複数のインスタンスを同時に実行できますが、1時間あたり合計3,600秒までのRI割引しか受けられません。1時間あたり3,600秒を超えるインスタンスの使用量は従量制で請求されます。

例えば、シリコンバレーゾーン1でモデルS3.16xlarge256のリザーブドインスタンスを購入した場合、このアカウントは、同じアベイラビリティーゾーンで同一属性を持つモデルS3.16xlarge256の3つの従量課金インスタンスを1時間実行する場合、1つの従量課金インスタンスにはリザーブドインスタンスの1時間分の使用料が、他の2つのインスタンスにはオンデマンドの2時間分の使用料が課金されます。

ただし、シリコンバレーゾーン1でモデルS3.16xlarge256のリザーブドインスタンスを購入した場合、1時間以内に同一アベイラビリティーゾーンで同一属性を持つ3つの従量課金インスタンス (A、B、C) をそれぞれ20分ずつ実行した場合、インスタンスの合計実行時間を1時間とします。そうすると、リザーブドインスタンスの使用料が1時間分課金されるだけで、オンデマンドの使用料は課金されません。下図に示すように、これらの3つのインスタンスは、それぞれRIと20分間マッチングされます。

Pay-as-you-go instance	4:00-4:20	4:20-4:40	4:40-5:00
A			
B			
C			

Billed at the RI price

一致する3つの従量課金インスタンスが同時に実行されている場合、リザーブドインスタンスの料金上の特典は1時間あたり3600秒まで同時にすべてのインスタンスに適用されます。3600秒を超えると、利用料金が従量課金で請求されます。



有効時間

購入したリザーブドインスタンスの有効時間は、正時ごとに計算されます。リザーブドインスタンスは、作成された時点より前の正時から有効になり、次の正時から365日後で一年間のサイクルになります。

例えば、2019-05-25 11:15:24に1年間有効なCVM RIが正常に購入された場合、このリザーブドインスタンスの有効期間は2019-05-25 11:00:00 ~ 2020-05-25 11:59:59となります。

例えば、2019-05-25 11:00:00に1年間有効なCVM RIが正常に購入された場合、このリザーブドインスタンスの有効期間は2019-05-25 11:00:00 ~ 2020-05-25 11:59:59となります。

Cloud Block Storage

CBSタイプ説明

最終更新日: 2021-08-02 16:28:25

Cloud Block Storage (CBS) は、高可用性、高信頼性、低コスト、カスタマイズ可能なネットワークブロックデバイスであり、Cloud Virtual Machine (CVM) の独立した拡張可能なハードディスクとして利用することができます。CBSは、データブロックレベルのデータストレージを提供し、3つの複製による分散型のメカニズムを採用することで、CVMにデータの信頼性の保証をもたらします。製品としては、**高性能CBS**、**SSD CBS**、**強化型SSD CBS**、**超高速型SSD CBS**の4種類のCBSタイプを提供し、それぞれのハードディスクタイプ、性能、特徴、価格はいずれも異なりますので、デプロイするユースケースの要件に応じて、ご自身でお選びいただけます。

注意事項

- 強化型SSD CBSおよび超高速型SSD CBSは、現在一部のアベイラビリティゾーンでのみ販売を開始しています。今後、販売するアベイラビリティゾーンを順次追加していく予定です。
- 強化型SSD CBSは2020年8月1日以降に作成したS5、M5、SA2およびそれ以上の新世代モデルにのみマウント可能です。旧世代のインスタンスにマウントした場合、お約束する性能を保証できません。
- 超高速型SSD CBSはストレージ拡張型CVM S5seと一緒にのみ購入できます。その他タイプのCVMは超高速型SSD CBSをサポートしていません。
- 強化型SSD CBSおよび超高速型SSD CBSは、現在システムディスクとしての利用をサポートしていません。
- 強化型SSD CBSおよび超高速型SSD CBSは、現在暗号化の特性をサポートしていません。
- 現在、その他タイプのCBSから強化型SSD CBSおよび超高速型SSD CBSへのアップグレードをサポートしていません。

CBSのタイプの概要

● 高性能CBS

高性能CBSは、Tencent Cloudが打ち出した混合型ストレージタイプです。CacheのメカニズムによってSSDによく似た高性能なストレージ機能を提供する同時に、3つの複製による分散型のメカニズムにより、データの信頼性を保証します。高性能CBSは、データ信頼性に対する要求が高く、性能要件が普通・中程度のWeb/Appサーバー、業務ロジック処理、中小型サイト構築などの中小型のユースケースに適しています。

● SSD CBS

SSD CBSは、Tencent CloudがNVMe SSD記憶媒体をベースに提供するフルフラッシュ型ストレージタイプです。3つの複製による分散型のメカニズムを採用し、低レイテンシー、比較的高いランダムIOPSとスループットのI/O性能、データの安全性が99.9999999%となるストレージサービスを提供します。SSD CBSはI/O性能に対する要求が比較的高いシナリオに適しています。

● 強化型SSD CBS

強化型SSD CBSは、Tencent Cloudが新世代ストレージエンジンをベースに設計し、フルNVMe SSD記憶媒体

と最新ネットワークインフラを基盤として提供する製品タイプです。3つの複製による分散型のメカニズムを採用し、低レイテンシー、高ランダムIOPS、高スループットのI/O性能、データの安全性が99.9999999%となるストレージサービスを提供します。強化型SSD CBSは、大型データベース、NoSQLなどのレイテンシーに対する要求が非常に高いI/Oバウンド型のシナリオに適しています。強化型SSD CBSでは、性能と容量の単独設定を特別にサポートしています。実際の業務の状況に応じて必要なストレージ容量およびストレージ性能を設定することが可能です。

● 超高速型SSD CBS

超高速型SSD CBSは、Tencent Cloudが自社開発した最新の高性能・分散型ストレージエンジンをベースに、高速ネットワークインフラおよび最新世代のストレージハードディスクを組み合わせ、超低レイテンシーの信頼性を安定的かつ長期的に提供します。超低レイテンシーが必要なI/Oバウンド型やスループットバウンド型のワークロードに非常に適しており、例えば、大型MySQL、HBase、Cassandraなどのデータベース業務、etcd、rocksdbなどのキーバリューストア、ElasticSearchなどのログ検索業務、ビデオ処理やライブストリーミングなどのリアルタイム・高帯域幅型の業務が挙げられます。重要な取引のワークロード、コアデータベース業務、大型OLTP業務、Media Processing Serviceなどのシナリオで優れたパフォーマンスを見せます。また超高速型SSD CBSでは、性能と容量の単独設定を特別にサポートしています。実際の業務の状況に応じて必要なストレージ容量およびストレージ性能を設定することが可能です。

性能指標

タイプ別のCBSの性能指標は次のとおりです。

性能指標	超高速型SSD CBS	強化型SSD CBS	SSD CBS	高性能CBS
シングルディスク 最大容量 (GB)	32000	32000	32000	32000
シングルディスク 最大IOPS	1100000	100000	26000	6000
ランダムIOPS性能 計算式	ベーシックパフォーマンス： $\text{ランダムIOPS} = \min\{4000 + 100 \times \text{容量 (GiB)}, 50000\}$ エクストラパフォーマンス： $\text{最大IOPS} = \min\{128 \times \text{エクストラパフォーマンス値}, 1050000\}$	ベーシックパフォーマンス： $\text{ランダムIOPS} = \min\{1800 + 50 \times \text{容量 (GiB)}, 50000\}$ エクストラパフォーマンス： $\text{最大IOPS} = \min\{128 \times \text{エクストラパフォーマンス値}, 50000\}$ 詳細については、 強化型SSD CBS性能の説明 をご参照ください。	ランダムIOPS = $\min\{1800 + 30 \times \text{容量 (GiB)}, 26000\}$	ランダムIOPS = $\min\{1800 + 8 \times \text{容量 (GiB)}, 6000\}$

シングルディスク 最大スループット (MB/s)	4000MB/s	1000MB/s	260MB/s	150MB/s
スループット性能 計算式 (MB/s)	<p>ベーシックパフォーマンス: スループット = $\min\{120 + 0.5 \times \text{容量 (GiB)}, 350\}$</p> <p>エクストラパフォーマンス: スループット = $\min\{1 \times \text{エクストラパフォーマンス値}, 3650\}$</p>	<p>ベーシックパフォーマンス: スループット = $\min\{120 + 0.5 \times \text{容量 (GiB)}, 350\}$</p> <p>エクストラパフォーマンス: スループット = $\min\{1 \times \text{エクストラパフォーマンス値}, 650\}$</p> <p>詳細については、強化型SSD CBS性能の説明 をご参照ください。</p>	<p>スループット = $\min\{120 + 0.2 \times \text{容量 (GiB)}, 260\}$</p>	<p>スループット = $\min\{100 + 0.15 \times \text{容量 (GiB)}, 150\}$</p>
シングルチャネル ランダムリード/ ライトのレイテンシー	0.1~0.5ms	0.3~1ms	0.5~3ms	0.8~5ms
特記事項	<p>超高速型SSD CBSは、標準ストレージ拡張型 S5se インスタンスと一緒にのみ購入できます。その他のタイプのCVMの購入時は超高速型SSD CBSを使用できず、また超高速型SSD CBSを単独で購入することもできません。</p>	<p>強化型SSD CBSは、S5、M5、SA2およびそれ以上の新世代インスタンスにのみマウントできます。旧世代インスタンスの仕様にマウントした場合は、お約束した性能を保証できません**。</p>	なし	なし

! 説明:

タイプごとのCBSの主な違いはI/Oパフォーマンスにあります。

適用ケース

強化型SSD CBSは、次のようなレイテンシー敏感型またはバウンド型I/Oのシナリオにより適しています。次のような例があります。

- 高性能、データの高信頼性: 高負荷、重要なコア業務システムに適しています。データの3重化による冗長性を提供し、完全なデータバックアップ、スナップショット、秒レベルのデータリカバリ能力を備えます。

- 中大型データベース：100万行テーブルレベルのMySQL、Oracle、SQL Server、MongoDBなどの中大型リレーショナルデータベースでの応用に対応できます。
- 大型NoSQL：HBase、CassandraなどのNoSQL業務のストレージ性能に対する要件を満たせます。
- ElasticSearch：ESのストレージの低レイテンシー性能に対する要件を満たせます。
- Video Service：オーディオビデオのエンコード/デコード、ライブストリーミングおよびそのレコーディングなどのシナリオにおいて、ストレージの帯域幅に関する性能要件を満たせます。
- ビッグデータ分析：TB、PBクラスのデータを対象に分散型処理能力を提供します。データ分析、データマイニング、ビジネスインテリジェント等の分野に適しています。

超高速型SSD CBSは、レイテンシーに対して極めて高い要求があるレイテンシー敏感型のシナリオに適しています。 次のような例があります。

- KVキーバリューストア（KVS）：rocksdb、コンテナetcdなど、キーバリューストア業務は、通常、シリアルI/Oモードでディスクに落とし込み、各I/Oの処理速度、すなわちレイテンシーに対して非常に厳格な要件があり、シングルチャネルのレイテンシーがシステム全体の性能を左右します。超高速型SSD CBSであれば最小で数十マイクロ秒のレイテンシーパフォーマンスを提供しますので、データの信頼性、高可用性が要求されるコア業務システムにも十分対応できます。
- 大型データベース：100万行テーブルレベルのMySQL、Oracle、SQL Server、MongoDBなど中大型リレーショナルデータベースでの応用に対応できます。
- 大型NoSQL：HBase、CassandraなどのNoSQL業務のストレージ性能に対する要件を満たせます。
- ElasticSearch：ESのストレージの低レイテンシー性能に対する要件を満たせます。
- Video Service：オーディオビデオのエンコード/デコード、ライブストリーミングおよびそのレコーディングなどのシナリオにおいて、ストレージの帯域幅に関する性能要件を満たせます。
- コア業務システム：データの信頼性に対する要求が高いI/Oバウンド型などのコア業務システム。
- ビッグデータ分析：TB、PBクラスのデータを対象に分散型処理能力を提供します。データ分析、データマイニング、ビジネスインテリジェント等の分野に適しています。
- 高性能、データの高信頼性：高負荷、重要なコア業務システムに適しています。3重化データによる冗長性を提供し、完全なデータバックアップ、スナップショット、秒レベルのデータリカバリ能力を備えます。

次のような**SSD CBSは大中型負荷のシナリオに適しています。**

- 中型データベース：MySQLなど中大型リレーショナルデータベースでの応用に対応できます。
- 画像処理：画像処理などのデータ分析ストレージ業務に対応できます。

高性能CBSは主に次のデータ関連シナリオで活用されます。

- 中小型データベース、Web/Appサーバーなどに適し、長期的に安定したI/O性能の出力を提供します。
- 企業のオフィス業務など、ストレージ容量と性能のバランスが求められるシナリオに適しています。
- コア業務のテスト、開発、統合調整環境でのI/Oのニーズを満足させます。

料金説明

詳細なCBSの料金については、[CBS価格一覧](#) をご参照ください。

CBS料金一覧

最終更新日： : 2023-04-11 16:59:32

CBS 価格の詳細については、[Price Overview](#) をご覧ください。

ディスクメディアの仕様変更による差額分の支払い

最終更新日: : 2023-04-11 14:33:02

Tencent Cloud CVM は、ストレージハードウェアメディアの仕様変更をサポートしています。必要に応じて、CVM コンソールでディスクメディアの仕様変更を行うことができます。仕様変更に伴う追加費用が発生した場合は差額分を決済していただく必要があります。変更は、決済完了後すぐに有効になります。

仕様変更の円滑化を図るためには、先に [ディスクメディアの仕様変更](#) に記載されている [前提条件](#) と [注意事項](#) をご覧ください。

料金ルール

- ローカルディスクからクラウドディスクに変更する場合、「日単位の差額支払い」ルールに準拠します。
差額 = 月額差額 (0以下の場合は0として計算) * ライフサイクルの残りの日数 / (365 / 12) * 適用される割引
- 月額差額: 新しいディスク構成と古いディスク構成の月額定価の差額。
- 差額料金は日単位で計算します。ライフサイクルの残りの日数 = リソースの有効期間 - 現在の時間です。
- 適用される割引: ライフサイクルの残りの日数を基準に、適用される割引を下方向に整合します。その割引は現在のネットワークで有効な割引です。
- リソースの有効期間は、メディアタイプの変更による影響を受けません。
- ローカルディスクからクラウドディスクに変更する場合、クーポンおよびプラットフォーム贈呈残高 (贈呈金) を使用して、差額を支払うことができます。

ご注意:

新しいディスク構成の価格が古いディスク構成の価格よりも低い場合、返金はありません。

ネットワーク

パブリックネットワーク課金方式

最終更新日: 2025-11-26 09:45:02

ネットワーク課金の概要

Tencent Cloud が提供するネットワークタイプのキャリアアクセスはいずれも BGP マルチパスであり、回線品質を保証しています。現在、ネットワークは次の 2 つのネットワーク課金方式を提供しています。

- 帯域幅ベース課金: パブリックネットワークの伝送レート (単位は Mbps) に基づいて課金されます。帯域幅利用率が 10% を超える場合は、帯域幅ベース課金を選択することを推奨します。
- トラフィックベース課金: パブリックネットワークで伝送されたデータの総量 (単位は GB) に基づいて課金されます。帯域幅利用率が 10% 未満の場合は、トラフィックベース課金を選択することを推奨します。

ネットワーク課金方式

⚠️ 注意:

トラフィックの急増による料金の上昇を防ぐため、帯域幅の上限を指定して制限することができます。この上限を超えた場合、デフォルトでパケットロスとなり、料金は計算されません。詳細については、[パブリックネットワークの帯域幅上限](#) を参照してください。

CVM 課金方式	ネットワーク課金方式	ネットワーク課金ルール
年額・月額課金	月額プラン帯域幅	毎月前払いを行い、ホストを購入する時に帯域幅の料金を事前に支払います。
	トラフィックベース	時間単位でパブリックネットワークのアウトプットトラフィックを課金します。
従量課金	トラフィックベース	時間単位でパブリックネットワークのアウトプットトラフィックを課金します。
	時間単位課金	時間単位で課金します。

関連ドキュメンテーション

[パブリックネットワークの課金](#)

パブリックネットワーク料金

最終更新日: 2025-12-15 16:14:09

このドキュメントでは、さまざまな課金モデルでのパブリックネットワーク料金について説明し、ニーズに応じて適切な課金モデルをお選びいただけます。

説明:

このドキュメントではGeneral BGP IPタイプのパブリックネットワーク料金について説明します。Premium BGP IPとAccelerated IPタイプは共有帯域幅パッケージによる課金のみをサポートしています。詳細については、[共有帯域幅パッケージ](#) をご参照ください。

年額・月額課金

必要に応じて予め固定帯域幅を購入し、課金方式は前払いとなります。ビジネストラフィックのピーク値が異なる時間帯で比較的安定しており、長期間使用されるシナリオに適しています。

通常の BGP IP 課金価格

地域	価格 (単位: USD/Mbps/月)	
	≤ 5Mbpsの部分	> 5Mbpsの部分
中国本土 (中国香港・中国マカオ・中国台湾を除く)、中国香港、シンガポール、バンコク、ジャカルタ、ソウル、東京、シリコンバレー、バージニア、フランクフルト、サンパウロ、リヤド	3.4	11.83

課金の例 広州地域の通常の BGP IP を購入し、月額プラン帯域幅の課金方式を選択したとします。このユーザーが 15Mbps の固定帯域幅を 2 ヶ月間購入した場合、合計料金は (3.4USD/Mbps/月×5Mbps + 11.83USD/Mbps/月×10Mbps) × 2 ヶ月 = 270.6 USDとなります。

時間単位課金

設定したパブリックネットワーク帯域幅に応じて、時間単位で課金されます。後払いで、1時間ごとに計算します。

課金価格

リージョン	価格 (単位: 米ドル/Mbps/時間)	
	5Mbps以下	5Mbpsを超える

中国本土（中国香港・中国マカオ・中国台湾を除く）、中国香港、シンガポール、バンコク、ジャカルタ、ソウル、東京、シリコンバレー、バージニア、フランクフルト、サンパウロ	0.0058	0.0208
リヤド	0.0071	0.025

📌 説明

1時間ごとに計算され、1時間内に帯域幅を変更した場合、最大の帯域幅で計算されます。

料金例

リージョン香港中国のEIPを購入し、時間単位課金を選択し、07:30:00 ~ 08:30:00の間に、設定した帯域幅のピーク値は15Mbpsの場合。

料金の計算は2つの課金期間に分けられます：

07:00:00~07:59:59の課金サイクル：5Mbps以下の部分の費用 = 0.0058米ドル/Mbps/時間 × 5Mbps × 1時間 = 0.029米ドル、5Mbpsを超える部分の費用 = 0.0208米ドル/Mbps/時間 × 10Mbps × 1時間 = 0.208米ドル、総費用 = 0.029米ドル + 0.208米ドル = 0.237米ドル。

08:00:00~08:59:59の課金サイクル：5Mbps以下の部分の費用 = 0.0058米ドル/Mbps/時間 × 5Mbps × 1時間 = 0.029米ドル、5Mbpsを超える部分の費用 = 0.0208米ドル/Mbps/時間 × 10Mbps × 1時間 = 0.208米ドル；総費用 = 0.029米ドル + 0.208米ドル = 0.237米ドル。

トラフィック課金

使用されたパブリックネットワークトラフィックに基づいて課金され、時間ごとの従量課金制です。この課金モデルは、時間帯の違いによって業務トラフィックのピーク変動が大きくなるシーンに適しています。

価格

リージョン	価格（単位：米ドル/GB）
中国大陸地区（香港、マカオ、台湾地区を含まず）、中国香港、ジャカルタ、ソウル	0.12
バージニア	0.075
フランクフルト、シリコンバレー	0.077
シンガポール	0.081
バンコク	0.1
リヤド	0.117
東京	0.13
サンパウロ	0.15

課金の例

広州リージョンのEIPを購入して、トラフィック課金モデルを選択したと仮定した場合。当該ユーザーが07:00:00～07:59:59の間に合計で10GBのトラフィックを使用した場合は、08:00:00時に発生する費用は次のようになります：0.12米ドル/GB × 10GB = 1.2米ドル

❗ 説明:

- トラフィックの変換単位は1024です。例えば、1TB = 1024GB、1GB = 1024MBとなります。
- パブリックネットワークのトラフィックは、下りバイト数（アウトバウンド方向のトラフィックバイト数）をもとに合計して得られたトラフィックデータです。実際のネットワーク転送で発生するネットワークトラフィックは実質のアプリケーション層のトラフィックよりも5%～15%多くなります。したがって、Tencent Cloudが合計するトラフィックは、ユーザーがサーバー側で算出するトラフィックよりも10%前後、多くなる可能性があります。
- TCP/IPヘッダーの消費：TCP/IPプロトコルのHTTPリクエストに基づき、各パケットのサイズは最大1500バイトであり、TCPおよびIPプロトコルの40バイトのヘッダーが含まれます。ヘッダー部分はトラフィックを発生させますが、アプリケーション層によって合計されることはありません。この部分の費用は3%前後になります。
- TCP再送：正常なネットワーク伝送プロセスにおいては、送信されるネットワークパケットの3%～10%前後がインターネットによって消失します。消失後は、サーバーが消失部分を再送します。この部分のトラフィックアプリケーション層も集計できません。占有率はトラフィック全体の3%～7%になります。

共有帯域幅パッケージ

共有帯域幅パッケージは複数のIPを集めた課金モードです。業務中のパブリックネットワークのトラフィックピークが異なる時間帯に分散しているとき、共有帯域幅パッケージによって帯域幅を統合する課金モードを実現し、パブリックネットワーク費用を大幅に低減できます。

次の表に示すように、各種IP回線タイプは、各種共有帯域幅パッケージタイプと料金に対応しています。

IP回線タイプ	共有帯域幅パッケージタイプ
通常のBGP IP、Anti-DDoS EIP	標準BGP帯域幅パッケージ
Premium BGP IP	高品質BGP帯域幅パッケージ
Accelerated IP	AIA BGP 帯域幅パッケージ
静的単一回線IP	静的単一回線帯域幅パッケージ

関連ドキュメント

[パブリックネットワーク帯域幅の上限](#)

パブリックネットワーク帯域幅の上限

最終更新日: 2025-11-26 09:45:03

このドキュメントでは、CVMインスタンスのアウトバウンドおよびインバウンドの帯域幅上限、さまざまな課金モデルでのピーク帯域幅の違いについてご説明します。

アウトバウンド帯域幅上限（ダウンストリーム帯域幅）

設定したパブリックネットワーク帯域幅の上限は、デフォルトでアウトバウンド帯域幅の上限、つまりCVMインスタンスから発信する帯域幅を示します。パブリックネットワーク帯域幅の上限はネットワークの課金モデルによって異なります。具体的な情報は以下のとおりです：

- 次のルールは、2020年2月24日00:00以降に作成されたインスタンスに適用されます。

ネットワーク課金方式	CVMインスタンス		帯域幅上限の設定可能範囲 (Mbps)
	インスタンス課金方式	インスタンス構成	
データ従量制	従量課金インスタンス	ALL	0 ~ 200 (200を含む)
	年額/月額プランインスタンス	ALL	
時間単位課金	従量課金インスタンス	ALL	0 ~ 2000 (2000を含む)
年額/月額プラン	年額/月額プランインスタンス	ALL	0 ~ 2000 (2000を含む)
BWP	ALL		0 ~ 2000 (2000を含む)

- 2020年2月24日00:00以前に作成されたマシンは、以下のルールに従います。

ネットワーク課金方式	CVMインスタンス		帯域幅上限の設定可能範囲 (Mbps)
	インスタンス課金方式	インスタンス構成	
トラフィックベース課金	従量課金インスタンス	ALL	0 ~ 200 (200を含む)
	年額/月額プランインスタンス	コア数 ≤ 8コア	0 ~ 200 (200を含む)

		8コア < コア数 < 24 コア	0 ~ 400 (400を含む)
		コア数 ≥ 24コア	0 ~ 400 (400を含む) または無制限
時間単位課金	従量課金インスタンス	ALL	0 ~ 2000 (2000を含む)
年額/月額プラン	年額/月額プランインスタンス	ALL	0 ~ 2000 (2000を含む)
BWP	ALL		0 ~ 1000 (1000を含む)

インバウンド帯域幅上限（アップストリーム帯域幅）

- パブリックネットワークのインバウンド帯域幅は、CVMインスタンスに着信する帯域幅を示します。
- 利用したトラフィック量に応じて課金されるパブリックIP:
 - ユーザーが購入した帯域幅が10Mbps以下の場合、Tencent Cloudは10 Mbpsのパブリックネットワークのインバウンド帯域幅を割り当てます。
 - ユーザーが購入した帯域幅が10Mbpsを超える場合、Tencent Cloudは購入した帯域幅に等しいパブリックネットワークのインバウンド帯域幅を割り当てます。
- 共有帯域幅パッケージに応じて課金されるパブリックIP:

Tencent Cloudは、購入した帯域幅に等しいパブリックネットワークのインバウンド帯域幅を割り当てます。

ピーク帯域幅

ピーク帯域幅は、「トラフィック課金」と「帯域幅課金」の両方に適用されますが、両者の意味合いは異なります。2つの料金プランの違いが一目でわかるように一覧にまとめました：

課金モデル	ピーク帯域幅の違い	説明
トラフィック課金	ピーク帯域幅は、コミットされた帯域幅ではなく、最大帯域幅と見なされるだけです。リソースの競合が発生した場合、ピーク帯域幅が制限される場合があります。	実行中のすべての従量課金インスタンス (CVM、EIP、Elastic IPv6) のピーク帯域幅の合計は、1つのリージョン内で5Gbpsを超えることはできません。アプリケーションが帯域幅保証またはそれ以上の帯域幅を必要とする場合は、固定帯域幅に応じて課金されるパブリックネットワーク帯域幅を購入してください。

<p>帯域幅別課金（年額/月額帯域幅と時間単位帯域幅を含む）</p>	<p>ピーク帯域幅はコミットされた帯域幅と見なされます。リソースの競合が発生した場合、ピーク帯域幅は保証され、制限を受けません。</p>	<p>単一リージョンにおいて、固定帯域幅課金（年額/月額帯域幅と時間単位帯域幅を含む）のCVMおよびElastic IPインスタンスの購入および実際の稼働における総帯域幅ピークは50Gbpsを超えてはなりません。より大きな帯域幅が必要な場合は、当社のビジネスサポート担当者までお問い合わせください。</p>
------------------------------------	--	---

関連ドキュメント

[パブリックネットワーク帯域幅の調整](#)

パブリックネットワーク課金方式の変更

最終更新日: 2025-11-26 09:45:03

現在のネットワーク課金方式がお客様のビジネスニーズを満たせない場合、帯域幅の調整または課金モードの調整を選択することができます。具体的な操作については、[ネットワーク構成の調整](#)を参照してください。この文章では、帯域幅と課金方式を調整する際の制限および調整後の料金について説明します。

帯域幅の調整

CVM の課金方式	ネットワーク課金方式	帯域幅の調整
従量課金	トラフィックベース	帯域幅のアップグレードまたはダウングレードが可能で、即座に有効になります。料金はトラフィックベースで決済され、帯域幅の調整は料金決済に影響を与えません。
従量課金	時間単位課金	帯域幅のアップグレードまたはダウングレードが可能で、即時有効です。1時間以内に帯域幅のアップグレードまたはダウングレードを行った場合、最大の帯域幅の料金が適用されます。
年額・月額課金	トラフィックベース	帯域幅のアップグレードまたはダウングレードが可能で、即座に有効になります。料金はトラフィックベースで決済され、帯域幅の調整は料金決済に影響を与えません。
年額・月額課金	月額	帯域幅のアップグレードのみ可能で、即時有効または特定の時間帯に有効にするかを選択できます。 <div style="border: 1px solid #00aaff; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>📌 説明: 更新時に帯域幅を変更（アップグレードまたはダウングレード）でき、新しい更新サイクルに有効です。</p></div>

課金方式の調整

CVM の課金方式	ネットワーク課金方式	ネットワーク課金方式の調整
従量課金	トラフィックベース	データ従量課金と時間単位課金は相互に変更可能で、変更回数制限がありません。

	時間単位課金	
年額・月額課金月	トラフィックベース	月額プラン帯域幅方式に変換可能で、1台につき1回のみ変換することができます。
	月額プラン帯域幅	月額プラン帯域幅方式に変換可能で、1台につき1回のみ変換することができます。使用済み帯域幅は、1時間あたりの帯域幅単価で課金されます。

計算の例

帯域幅の単価は [パブリックネットワークの課金方式](#) の価格を基準とします。

❗ 説明:

ネットワーク料金のみ計算され、CVM およびその他のデバイス料金は別途請求となります。

帯域幅の調整

「データ従量課金」の帯域幅のアップグレードまたはダウングレード

データ従量課金のインスタンス帯域幅上限はいつでも変更可能で、帯域幅上限の変更はパブリックネットワークの費用に影響を与えず、パブリックネットワーク費用は実際の使用データ通信量に基づいて課金されます。

「時間単位課金」の帯域幅のアップグレードまたはダウングレード

時間単位課金は1時間ごとに料金を精算し、1時間以内に帯域幅のアップグレードまたはダウングレードを行った場合は、最大帯域幅の料金が適用されます。

例えば、2020年6月1日0時に、広州リージョンのCVMに2Mbps/時間の時間単位課金帯域幅を購入したとします。パブリックネットワーク帯域幅は2Mbps/時間、0.0116米ドル/時間です。2020年6月1日0時30分に、帯域幅を6Mbps/時間、0.0498米ドル/時間にアップグレードした場合、2020年6月1日1時に、時間単位に基づいて計算され、つまり6Mbps/時間で計算され、0.0498米ドルを請求いたします。

「月額」帯域幅のアップグレード

帯域幅のアップグレードは、日割り計算による差額補填の原則に従います。アップグレード時の補填金 = アップグレード後の帯域幅の月額価格 × アップグレード月数 - アップグレード前の帯域幅の月額価格 × アップグレード月数。

説明:

アップグレード費用は日割りで差額を計算し、1日未満の場合は1日とされます。

アップグレード月数 = (リソースの有効期限 - 現在の時間) / (365 / 12)。

例えば、2020年6月1日に、広州リージョンのCVMに2Mbpsの月額帯域幅を購し、毎月の帯域幅費用 = 2Mbps × 3.4米ドル/Mbps/月 = 6.8米ドル/月、3ヶ月分購入したとします。2020年6月21日0時0分 (利

用した期間は20日間)、帯域幅を2Mbpsから6Mbpsにアップグレードした場合、毎月の帯域幅費用 = 5Mbps × 3.4米ドル/Mbps/月 + 1Mbps × 11.83米ドル/Mbps/月 = 28.83米ドル/月になります。

アップグレード月数 = $(10 + 31 + 31) / (365 / 12) = 2.37$ ヶ月

アップグレード補填費用 = $28.83 \times 2.37 - 6.8 \times 2.37 = 52.2111$ 米ドル

説明:

6月は30日、7月は31日、8月は31日あり、リソースの有効期限 - 現在時刻 = 10 + 31 + 31。

パブリックネットワーク課金方式の調整

従量課金インスタンスの「データ従量課金」を「時間単位課金」に変更する

CVMの課金モデルが従量制のインスタンスは、そのネットワーク課金モデルがデータ従量課金の場合、時間単位課金に変更できます。各CVMの変更回数に制限はありません。

パブリックネットワーク料金はデータ従量制からパブリックネットワーク帯域幅の利用時間単位での課金に変更され、1時間ごとに計算されます。補填料金は発生せず、返金も致しません。

1つの課金サイクル（つまり1時間）内に変更があった場合、データ従量課金の費用はこの課金サイクル内に使用されたデータ通信量に基づいて計算され、時間単位課金の費用は時間比率（つまり秒数 / 3600秒）に基づいて計算されます。時間は秒単位で計算されます。

従量課金インスタンスの「時間単位課金」を「データ従量課金」に変換する

CVMの課金モデルが従量制のインスタンスは、そのネットワーク課金モデルが時間単位課金の場合、データ従量課金に変更できます。各CVMの変更回数に制限はありません。

パブリックネットワーク料金はデータ従量制からパブリックネットワーク帯域幅の利用時間単位での課金に変更され、1時間ごとに計算されます。補填料金は発生せず、返金も致しません。

1つの課金サイクル（つまり1時間）内に変更があった場合、データ従量課金の費用はこの課金サイクル内に使用されたデータ通信量に基づいて計算され、時間単位課金の費用は時間比率（つまり秒数 / 3600秒）に基づいて計算されます。時間は秒単位で計算されます。

年額・月額課金インスタンスの「月額プラン帯域幅課金」が「トラフィックベース課金」に変換されます

CVMの課金方式年額・月額課金インスタンスで、そのネットワーク課金方式が月額プラン帯域幅課金である場合、トラフィックベース課金に変換することができ、CVM 1台につき1回のみ変換することができます。変換後の払い戻し料金 = 購入した月額プラン帯域幅料金 - 使用したリソース料金。

- 使用したリソース料金: リソースが丸1ヶ月使用された場合、丸1ヶ月使用された分の月額プラン帯域幅料金で課金されます。1ヶ月未満の場合は、使用済み時間に応じて時間プラン帯域幅の料金で課金されます。使用済み時間は秒までの正確さとしします。
- 購入時に使用した金券は払い戻しをサポートしておらず、金券以外の料金は支払い方法（現金/贈呈マネー）と支払い比率に応じて、支払い元のTencent Cloudアカウントに払い戻されます。

例えば、2020年6月1日0時に、広州地域のCVMにパブリックネットワーク2Mbpsの月額プラン帯域幅を6.8 USD/月で3ヶ月間購入したとします。2020年7月2日12時（使用済み時間は1ヶ月+36時間）に、2Mbpsの月額プラン帯域幅がトラフィックベース課金に変換されます。

購入した月額プラン帯域幅の料金 = $6.8 \times 3 = 20.4$ USD。

- 使用済みリソース料金 = $6.8 + 0.0058 \times 2 \times 36 = 7.2176$ USD。
- 変換後のネットワーク払い戻し料金 = $20.4 - 7.2176 = 13.1824$ USD。

📌 説明:

- 使用済みリソース料金のうち、丸1ヶ月がある場合は丸1ヶ月分の料金に基づき計算され、1ヶ月未満の場合は変換後の1時間当たりの帯域幅単価で計算されます。
 - $\leq 5\text{Mbps}$: 0.0058 USD/Mbps/時間。
 - $> 5\text{Mbps}$: 0.0208 USD/Mbps/時間。
- 使用済みリソース料金のうち、6.8 USDは丸1ヶ月間使用した場合の月額プラン帯域幅の料金であり、 $0.0058 \text{ USD/Mbps/時間} \times 2\text{Mbps} \times 36 \text{ 時間}$ は、1ヶ月間未満の場合の1時間当たりの帯域幅の料金です。

年額・月額課金インスタンスの「トラフィックベース課金」から「月額プラン帯域幅課金」への変換

CVMの課金方式は年額・月額課金のインスタンスであり、そのネットワーク課金方式がトラフィックベース課金の場合、月額プラン帯域幅課金に変換できます。トラフィック料金は、変換時に時間単位で請求され、変換後に月額プラン帯域幅の課金方式に従って計算されます。CVM 1台につき1回のみ変換できます。

❗ 説明:

年額・月額課金インスタンスのトラフィックベース課金は月額プラン帯域幅課金に変換され、パブリックネットワークのデフォルト時間はインスタンスの残りの時間（日数単位）であり、日数の割合（すなわち残りの日数 \div 30日）で課金されます。

例えば、2020年6月1日に広州地域で3ヶ月の年額・月額課金のCVMを購入し、同時に2Mbpsのトラフィックベース課金のパブリックネットワーク帯域幅を購入したとします。2020年7月2日（残りの時間は $30+31=61$ 日となる）に、2Mbpsのトラフィックベース課金の帯域幅を6.8USDの月額プラン帯域幅に変換しました。

- 残り日数の割合 = $(30+31) / 30 = 2.033$ 。
- 変換後の追加料金 = $6.8 \times 2.033 = 13.8244 \text{ USD}$ 。

Elastic IPアドレス

最終更新日: 2025-12-15 16:13:53

Elastic IP(EIP)では、従来のアカウント（CVMアカウントで請求）と標準アカウント（IPアカウントで請求）によって請求される料金が異なります。本記事では、異なるタイプのアカウントにおけるEIPの料金について紹介します。

背景

現在、Tencent Cloudアカウントは従来のアカウント（CVMアカウントで請求）と標準アカウント（IPアカウントで請求）に分かれています。2020年6月17日以降に登録されたTencent Cloudアカウントは、すべて標準アカウント（IPアカウントで請求）です。相違点は以下の通りです。

- 従来のアカウント（CVMアカウントで請求）：CVMで帯域幅/トラフィックを管理します。従来のアカウントは、IPとCLBにはネットワーク帯域幅やトラフィック属性がなく、CVM上で購入および管理する必要があります。
- 標準アカウント（IPアカウントで請求）：IPとCLBで帯域幅/トラフィックを管理します。標準アカウントで購入したCVMには、パブリックネットワーク帯域幅やトラフィックリソースがなく、パブリックネットワークCLB/IPエンドポイントにはパブリックネットワーク帯域幅やトラフィックリソースがあります。

📌 説明:

アカウントの種類を確認する方法の詳細については、[Checking Account Type](#)をご参照ください。

費用内訳

EIPの料金はIPリソース料金とパブリックネットワーク料金で構成されます。従来のアカウントと標準アカウント料金の詳細は以下の通りです。

従来のアカウント

従来のアカウント（CVMアカウントで請求）では、IPリソース料金しか請求しません。パブリックネットワーク料金は、CVMインスタンス上で請求します。

- EIPがクラウドリソースにバインドされていない場合：EIPは[IPリソース料金](#)のみを請求します。時間単位で計算されます。
- EIPがクラウドリソースにバインドされている場合：EIP自体にはいかなる料金も発生せず、CVMインスタンス上でのみ[パブリックネットワーク料金](#)を請求します。

標準アカウント

標準アカウント（IPアカウントで請求）には以下の課金モデルがあります。詳細は、次の通りです。

- トラフィック課金：パブリックネットワーク料金とIPリソース料金を請求します。

- EIPがクラウドリソースに関連付けられていない場合:EIPは **IPリソース料金**のみ請求し、1時間ごとに利用料が課金されます。パブリックネットワーク料金は請求しません。
- EIPがクラウドリソースに関連付けられている場合: EIPは **パブリックネットワーク料金**のみを請求します。
- 月間サブスクリプション制の帯域幅: EIPがクラウドリソースに関連付けられているかどうかに関係なく、**パブリックネットワーク料金**のみを請求します。
- Bandwidth Package: パブリックネットワーク料金とIPリソース料金を請求します。
 - EIPがクラウドリソースに関連付けられていない場合:EIPは **IPリソース料金**のみ請求し、1時間ごとに利用料が課金されます。パブリックネットワーク料金は請求しません。
 - EIPがクラウドリソースに関連付けられている場合: EIPは **パブリックネットワーク料金のみを請求します**。

IPリソースの料金計算

課金サイクル

IPリソースの料金は、時間ごとの従量課金制で、後払いは可能です。

IPリソースの料金は、EIPを申請した時点から課金されます。クラウドリソースに関連付けられている場合は課金が一時的に停止され、クラウドリソースとの関連付けを解除する場合は課金が再開され、EIPが解放されると課金が停止されます。リソースは秒単位で請求されますが、1時間ごとに決済されます。同じ課金サイクルで、複数回の関連付けおよび関連付け解除を行うと、課金対象期間は、クラウドリソースからのEIPの関連付けの解除に費やされた累積時間です。

課金の計算式

IPリソースの料金 = EIP が配置されているリージョンのアイドル価格×課金時間

価格

リージョン	(米ドル/時間)
中国大陸.ジャカルタ.リヤド	0.031
中国香港 シンガポール フランクフルト ソウル バージニア シリコンバレー バンコク 東京	0.04
サンパウロ	0.03

課金事例

「Bill-by-CVM」アカウントを持つユーザーが、09:00:00 – 09:59:59の間に広州地域のEIPを申請し、15 分間 (900 秒) アイドル状態になった後にCVMを関連付けた場合は、IPリソースの料金は、0.031米ドル/時間 * (900/3600) 時間 = 0.00775 (米ドル) になります。

⚠️ ご注意:

不要な IP リソース料金が発生しないように、EIPを申請したらすぐにクラウドリソースに関連付け、クラウドリソースとの関連付けを解除する場合は、使用しなくなったEIPはすぐに解放してください。

パブリックネットワーク料金

EIPによって生成されたパブリックネットワークトラフィックには、パブリックネットワーク料金が請求されます。料金プランは、「トラフィック課金」、「帯域幅課金」の2種類があります。詳細については、[パブリックネットワーク料金](#) をご参照ください。

支払い延滞の説明

アカウント残高がマイナスになっている場合

支払い延滞期間	説明
< 2時間	リソースは引き続き使用でき、アカウントには引き続き課金されます。
≥ 2時間、< 2時間 + 24時間	EIPは保持されますが、サービスは一時停止されます。料金は請求されなくなり、EIPは使用できなくなります。
≥ 2時間 + 24時間	<ul style="list-style-type: none">クラウドリソースに関連付けられていないEIPが解放されます。既にクラウドリソースに関連付けられているEIPは保持されますが、サービスは停止されます。料金は請求されなくなり、EIPは使用できなくなります。

関連付けられているクラウドリソースの支払い延滞

EIPに関連付けられているクラウドリソースの支払いが遅れた場合、EIPはリソースから関連付け解除され、アイドル状態になり、アイドル料金が発生します。EIPを使用する必要がなくなった場合は、コンソールで解放してください。

価格ファイルはご参考までに、最終価格は請求書に基づいています。

課金モデルの変更

従量課金インスタンスから年額・月額への変更

最終更新日: 2025-07-14 15:40:57

操作ケース

Cloud Virtual Machine (CVM) をより便利にご利用いただくために、Tencent Cloud では、CVM の従量課金インスタンスを年額・月額課金インスタンスに変換する機能を開放しており、一時的に使用される従量課金インスタンスを長期的かつ安定的にご利用いただける年額・月額課金インスタンスに変換します。変換操作は、CVM のコンソールと TencentCloud API で行うことができます。このドキュメントでは、CVM のコンソールで従量課金インスタンスを年額・月額課金インスタンスに変換する機能の操作について説明します。

変換ルール

CVM のコンソールでは、課金方式の変換機能を提供しています。具体的なルールは以下のとおりです。

- 従量課金インスタンスを個々・一括に年額・月額課金インスタンスに変換することができます。
- 従量課金インスタンスを年額・月額課金インスタンスに変換する際に、リニューアルオーダーが発生します。課金方式の変換を有効にするには、このオーダーの支払いプロセスを完了する必要があります。支払いが行われなかった場合、または支払いが失敗した場合は、お客様の [オーダーセンター](#) ページでオーダーを確認して処理することができます。
- 課金方式を従量課金から年額・月額課金に変換する CVM は、5 日以内の理由なしの払い戻しをサポートしません。
- 課金方式の変換と支払いが成功すると、インスタンスは直ちに年額・月額で課金されます。新しい年額・月額課金インスタンスの開始時刻は、変換が成功した時刻とします。
- 支払いが成功するまで、このインスタンスに対して課金方式の変換を繰り返して実行することはできません。
- 支払いが成功するまでに、インスタンスの設定情報が変更され（設定の調整/システムの再インストール/帯域幅の調整/ディスクの調整など）、新しいオーダーの金額とインスタンスが一致せず、未払いオーダーの支払いが禁止される場合は、まず [オーダーセンター](#) で現在の未払いオーダーをキャンセルしてから、新しい変換操作を実行する必要があります。
- 従量課金から年額・月額課金への変換機能は、インスタンスとディスクを同期的に変換する課金方式をサポートしています。インスタンス課金方式の変換後、標準アカウントタイプ (bill-by-IP) の通常のパブリックネットワーク IP の時間帯域幅の課金方式と、従来のアカウントタイプ (bill-by-CVM) の時間帯域幅の課金方式は、年額・月額の帯域幅課金方式の自動変換をサポートしており、それ以外のネットワーク帯域幅課金方式は変更されません。

使用制限

- 使用可能なゾーンの年額・月額課金の残りのクォータが、変換する従量課金インスタンス数より少ない場合は、変換をサポートしません。
- 従量課金インスタンス以外のインスタンスは、変換をサポートしません。
- ビッドインスタンスは、変換をサポートしません。
- インスタンスネットワークの課金方式が帯域幅の使用時間に基づくため、現在、変換をサポートしません。
- クラウドマーケットイメージを使うインスタンスは、変換をサポートしません。
- バッチ型インスタンス BC1、BS1 は、変換をサポートしません。
- 従量課金インスタンスに未完了の変換オーダーがある場合は、変換をサポートしません。
- 従量課金インスタンスに定時破棄が設定された場合は、変換をサポートしません。変換が必要な場合は、定時破棄をキャンセルしてから、再度変換してください。

操作手順

1. [Cloud Virtual Machine コンソール](#) にログインします。
2. 実際のニーズに応じて、インスタンス管理ページで、異なるインスタンス変換操作を選択します。

個々のインスタンスの変換

インスタンス管理ページで、実際に使用するビュー方式に応じて操作します。

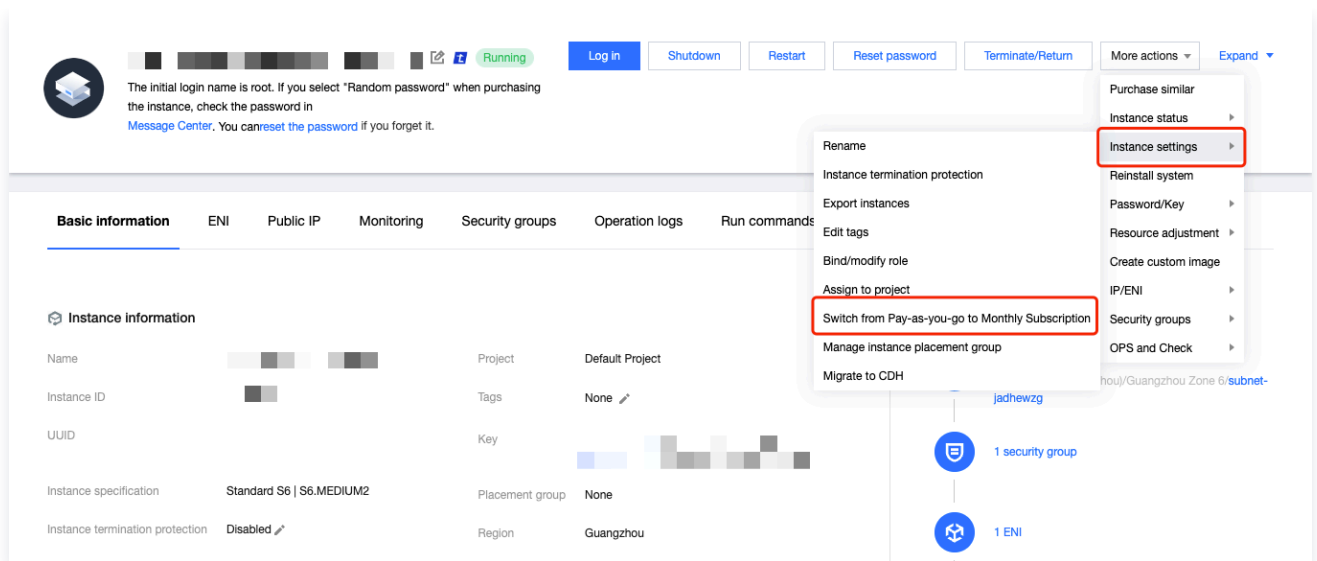
- リストビュー：右側の操作バーで、**その他 > インスタンス設定 > 従量課金から年額・月額課金への変換**を選択します。下図のとおりです。

❗ 説明：

また、変換するインスタンスにチェックを入れ、上部にある**その他の操作 > インスタンス設定 > 従量課金から年額・月額課金への変換**を選択することができます。

ID/Name	Monitoring	Status	Availability	Instance type	Instance configuration	Primary IPv4	Primary IPv6	Instance billing mode	Network billing	Operation
<input type="checkbox"/> ins-k3fb1gme gardenchen_test_allinone		Running	Guangzhou Zone 6	Standard S6	2-core 2GB 5Mbps System disk:Balanced SSD Network:Default-VPC	139.199.178.169 (Public) 172.16.49.107 (Private)	-	Pay-as-you-go Created at 2023-10-19 10:44:47	Bill by traffic	Log In More ▾
<input type="checkbox"/> ins-e6vka4g test_languange__1		Running	Guangzhou Zone 6	Standard S6	2-core 4GB 5Mbps System disk:Balanced SSD Network:Default-VPC	43.138.202.25 (Public) 172.16.48.11 (Private)	-			Instance settings ▸
<input type="checkbox"/> ins-0dmgspc4 diluczhang		Running	Guangzhou Zone 3	Standard S5	2-core 4GB 0Mbps System disk:Balanced SSD Network:Default-VPC	172.16.16.13 (Private)	-			Switch from Pay-as-you-go to Monthly Subscription
<input type="checkbox"/> ins-lhqt4ro echochang在测试		Running	Guangzhou Zone 3	Standard SA2	2-core 4GB 5Mbps System disk:Balanced SSD Network:Default-VPC	1.12.60.154 (Public) 172.16.16.17 (Private)	-			

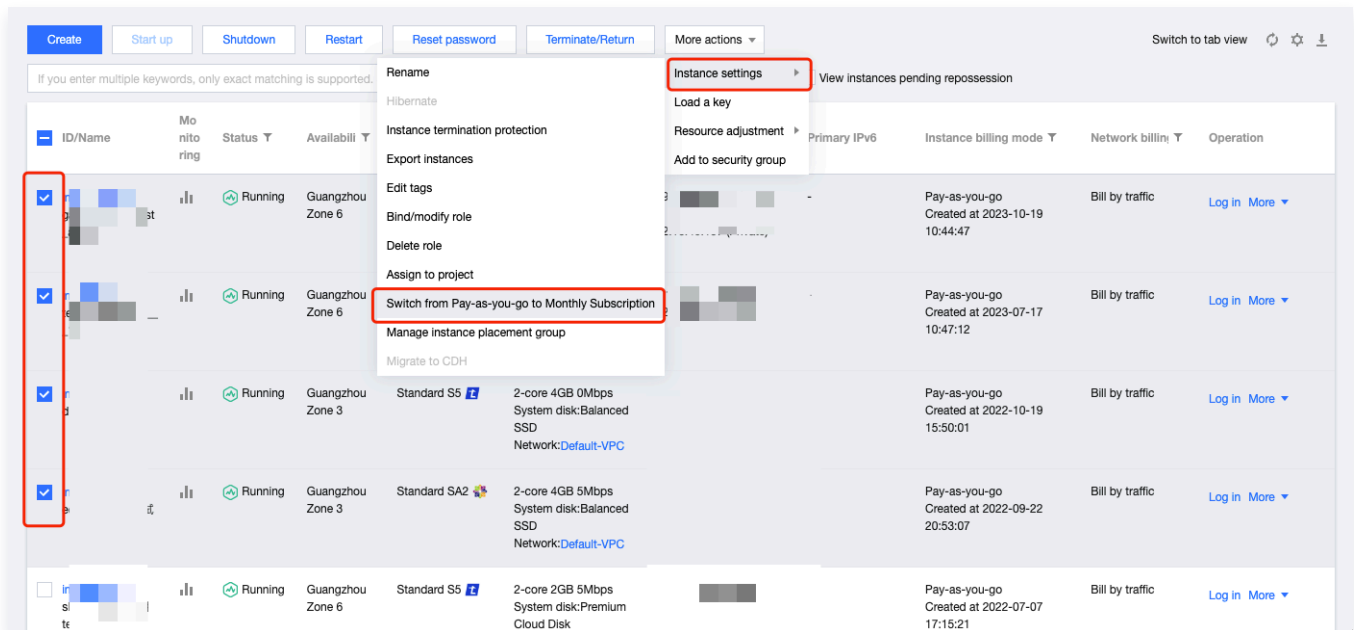
- タブビュー：インスタンスページで、右上にある**その他の操作 > インスタンス設定 > 従量課金から年額・月額課金への変換**を選択します。下図のとおりです。



複数のインスタンスの変換

変換するすべてのインスタンスにチェックを入れ、上部にあるの**その他の操作 > インスタンス設定 > 従量課金から年額・月額課金への変換**をクリックします。そうすると、インスタンスの課金方式を一括に変換することができます。下図のとおりです。

操作できないインスタンスには理由が表示されます。



- ポップアップ表示される**従量課金から年額・月額課金への変換**ウィンドウで、実際のニーズに応じてリニューアル時間及び自動リニューアルの可否を設定します。下図のとおりです。

Switch to Monthly Subscription ×

You've selected 1 instance. [Collapse](#)

ID/Name	Instance type	Instance configuration	New expiry time	Discount ?
	Standard S6 T	2-core 2GB 5Mbps System disk:Balanced SSD Network:vpc-9679ku27	202	

i When you switch from Pay-as-you-go to Monthly Subscription, both the billing mode of instance and disk will be changed. For bandwidth billing details, see [Switching Rules](#) .
The displayed discount is the highest discount for all instances.

Renewal period * 1 2 3 1 year 2 years 3 years 4 years 5 years [More](#)

Auto-renewal Auto-renew the device every month when my account has sufficient balance

Storage Switch to Monthly Subscription as well i

Fee

I have read and agreed to [Rules on Switching from Pay-as-you-go to Monthly Subscription](#). ↗

Change now Close

- リニューアル時間: 年額・月額課金に変換した後の購入時間を選択します。複数インスタンスの一括変換の場合は、同じ購入時間しか設定できません。
 - 自動リニューアル: ニーズに応じて自動リニューアルを選択します。
4. 従量課金から年額・月額課金への変換に関するルールを読み、同意するチェックボックスにチェックを入れて、今すぐ変換をクリックします。このインスタンスに未完了の変換オーダーがない場合は、自動的に支払いページにジャンプします。
 5. ページの指示に従って支払いを完了すると、変換操作は完了します。

よくある質問

変換処理中に問題が発生した場合は、 [よくある質問](#) > [課金関連](#) ドキュメントを参照してください。

サブスクリプション(月額・年額)インスタンスの契約型課金への変更

最終更新日: 2025-12-15 11:54:15

操作シナリオ

Tencent Cloud CVMでは、サブスクリプション(月額・年額)を契約型課金に変更できます。詳細については、後文の[変更ルール](#)および[利用制限](#)をご参照ください。本記事は、コンソールを通じて変更操作について説明します。お客様は、必要に応じてインスタンスを変更して利用できます。

❗ 説明:

- 契約型課金は、クローズドベータ版の課金モデルです。利用をご希望の場合は、営業担当までお問い合わせください。
- 契約型課金へ変更後は、選択した契約期間に対応する割引率に基づいて、毎月のサービス料金が再計算されます。
- 契約型課金は、契約期間中のインスタンスの返金や、仕様変更や他の課金モデルへの変更もサポートしていません。変更は、慎重に行ってください。

変更ルール

CVMコンソールにて課金モデル変更機能を提供しています。具体的なルールは以下の通りです。

- 単一および複数でのサブスクリプション(月額・年額)適用中のインスタンスを契約型課金インスタンスに変更できます。
- 変更は、インスタンスの課金モデルの契約型課金への変更のみをサポートします。クラウドディスクやネットワークなどの他の製品の課金モデルは変更されません。
- 課金モデル変更後、当月使用済みの分は、従量課金として精算され、課金モデルは、契約型課金モデルに切り替えられます。当月の差額は、ユーザーに返還されます。次回の更新日は契約型課金の開始日となります。返還金額 = 支払済金額 - 当月の従量課金使用済みの分の金額 - 残存期間の契約型課金分。
- 課金モデル変更後、インスタンスは返金できなくなります。期間中のインスタンスの返金や、課金モデルの変更ができません。

利用制限

- サブスクリプション(月額・年額)以外のインスタンスは契約型課金に変更できません。
- 契約型課金への変更注文が完了していないサブスクリプション(月額・年額)インスタンスは、変更できません。
- 仕様に対応するサブスクリプション(月額・年額)の割引率が契約型課金の割引率よりも低い場合、変更できません。

操作手順

1. [CVMコンソール](#)にログインします。
2. 必要に応じて、インスタンス管理ページで異なる変更操作を選択します。

単一インスタンスの変更

インスタンス管理ページにて、実際の表示モードに応じて操作します。

- **リストビュー**：右側の操作列で、**その他 > インスタンス設定 > サブスクリプション(月額・年額)**を契約型課金へ変更の順に選択します。下図をご参照ください。

！ 説明：

なお、契約型課金に変更したいインスタンスにチェックを入れ、上部の**その他の操作 > インスタンス設定 > サブスクリプション(月額・年額)**を契約型課金へ変更の順にクリックして変更できます。



- **タブビュー**：インスタンスページにて、**その他の操作 > インスタンス設定 > サブスクリプション(月額・年額)**を契約型課金へ変更の順にを選択します。下図をご参照ください。



複数インスタンスの変更

契約型課金に変更したいインスタンスにチェックを入れ、上部の**その他の操作 > インスタンス設定 > サブスクリプション(月額・年額)**を契約型課金へ変更の順にクリックすると、インスタンスの課金モデルを一括変更できます。下図をご参照ください。

! 説明:

操作できないインスタンスについては、その理由が表示されます。



3. ポップアップ表示されるサブスクリプション(月額・年額)を契約型課金へ変更ウィンドウにて、返金総額および契約型課金の月額料金を確認します。
4. サブスクリプション(月額・年額)の契約型課金への変更ルールを読み、同意しましたにチェックを入れ、確定をクリックします。サブスクリプション(月額・年額)を契約型課金へ変更ウィンドウでインスタンスの変更完了が表示されれば、操作は完了です。

購入インスタンス

購入方法

最終更新日: : 2024-04-26 16:53:29

ユーザーはコンソールまたは API 経由でCVMインスタンスを購入することができます。このドキュメントでは、これらの2つの購入方法について詳しく説明します。

公式ウェブサイトからのインスタンスの購入

すべてのユーザーは [Tencent Cloud の Cloud Virtual Machine \(CVM\) 購入ページ](#) からクラウドサービスを購入することができます。課金方式により、ユーザーは、年額・月額課金（月/年ごとに購入）、従量課金（秒単位で計算、時間単位で決済）、ビッドインスタンス（秒単位で計算、時間単位で決済）の3種類の CVM を購入することができます。詳しくは CVM の [課金方式の説明](#) を参照してください。

以下では、公式サイトでこれら3種類のCVMを購入する際の具体的な操作手順について説明します。

年額・月額課金

- [Tencent Cloud の CVM 購入ページ](#) にログインします。
- カスタムコンフィギュレーションでモデルを選択する時に、**課金方式** は **年額・月額課金** を選択します。
- 実際のニーズとページプロンプトに従って、地域、利用可能なゾーン、ネットワーク、インスタンスなどのコンフィギュレーション情報を設定します。
- オーダーを確認した後、残高支払い、オンラインバンキング支払い、WeChat 支払い、QQ ウォレットなどの方法で支払うことができます。
- オーダーの支払い後にすぐにサーバーを有効にし、約1-5分待ってIPアドレスが表示されると、ログインして管理することができます。

ご注意:

- 各コンフィギュレーションについて、++++[CVM 価格一覧](#)、[Cloud Block Storage \(CBS\) 価格一覧](#)、[パブリックネットワーク課金方式](#) などのヘルプドキュメンテーションを参照し、実際のニーズに応じて購入することができます。
- 購入説明と注意事項の詳細については、[公式サイトで購入説明](#) を参照してください。
- 年額・月額課金インスタンスは、早期払い戻しをサポートしません。必要なコンフィギュレーションを確認してからオーダーの支払いを行ってください。

従量課金

- [Tencent Cloud CVM購入ページ](#) にログインします。
- 課金方法で「従量課金」を選択します。

3. 実際のニーズとページの指示に応じて、リージョン、アベイラビリティゾーン、ネットワーク、インスタンスなどの情報を設定します。
4. 注文内容を確認した後、残高支払い、インターネットバンキング決済などの方法で支払いをします。
5. CVMインスタンスは、お支払い完了後すぐにアクティブ化されます。IPアドレスは、表示されるまで約1~5分かかります。その後、CVM インスタンスにログインして管理できます。

⚠️ ご注意:

- 従量課金CVMインスタンスをアクティブ化したら、アカウントの残高が十分であることを確認してください。残高が不足している場合、支払いが滞ったり、場合によってはインスタンスが取り消されたりする可能性があります。詳細については、[支払い延滞の説明](#) をご参照ください。
- 各設定については、[CVM価格一覧](#)、[CBS価格一覧](#)、[パブリックネットワーク課金モデル](#) などのヘルプドキュメントをご参照のうえ、必要に応じてCVMインスタンスを購入できます。
- 購入に関する詳細や注意事項等は、[こちら](#) をご確認ください。

スポットインスタンス

1. [Tencent Cloud CVM購入ページ](#) にログインします。
2. 課金方法で「スポットインスタンス」を選択します。
3. 実際のニーズとページの指示に応じて、リージョン、アベイラビリティゾーン、ネットワーク、インスタンスなどの情報を設定します。
4. 注文内容を確認した後、残高支払い、インターネットバンキング決済などの方法で支払いをします。
5. CVMインスタンスは、お支払い完了後すぐにアクティブ化されます。IPアドレスは、表示されるまで約1~5分かかります。その後、CVM インスタンスにログインして管理できます。

⚠️ ご注意:

- CVMスポットインスタンスをアクティブ化したら、アカウントの残高が十分であることを確認してください。残高が不足している場合、支払いが滞ったり、場合によってはインスタンスが取り消されたりする可能性があります。
- 各設定については、[CVM価格一覧](#)、[CBS価格一覧](#)、[パブリックネットワーク課金モデル](#) などのヘルプドキュメントをご参照のうえ、必要に応じてCVMインスタンスを購入できます。
- 購入に関する詳細や注意事項等は、[こちら](#) をご確認ください。

API を介してインスタンスの購入

API を介してCVMインスタンスの購入を希望するユーザーは、APIドキュメント [RunInstances](#) をご覧ください。

価格一覧

最終更新日: 2022-09-01 17:12:46

Cloud Virtual Machine (CVM) インスタンスにはハードウェア (CPU、メモリ)、ディスク (システムディスク、データディスク)、ネットワークが含まれます。購入時に、購入ページは対応する資料を提供します。ここではまずCVMインスタンスハードウェア (CPUとメモリ) の価格、購入およびグレード変更について説明します。

従量課金インスタンス価格

📌 説明:

この章ではCVMの従量課金の価格ルールを紹介します。具体的な価格は [CVM価格計算ツール](#) をクリックして計算してください。

CVMの一部のインスタンスタイプの従量課金は三段階の段階価格を実行します。三段階の段階価格をサポートするインスタンスタイプについては、新規購入、従来の仕様のCVMインスタンスは、いずれもこの段階価格基準の課金を参照します。各インスタンスタイプの三段階の段階価格に対するサポート状況については、購入ページ内の段階料金明細をご参照ください。

注意事項

- 従量課金インスタンス公表価格の単位は時間で、1秒単位で課金され、1時間単位で決済されます。
- CVM段階方式はCPUとメモリ料金のみに関するものであり、ネットワークとディスクの料金は含みません。
- 価格計算ツールが示すのは全て第一段階価格です。
 - 三段階の段階価格をサポートするインスタンスタイプ: 第二段階価格 = 第一段階価格×50%、第三段階価格 = 第一段階価格×34%
 - 三段階の段階価格をサポートしないインスタンスタイプ: 第一段階価格 = 第二段階価格 = 第三段階価格
- 各インスタンスタイプの段階価格に対するサポート状況は、購入ページと料金センターの段階料金明細をご参照ください。
- 段階ルールは同一の設定にのみ適用され、設定が変更された場合、料金は新しく設定された第一段階から改めて課金されます。

CVMを例にとると、元の構成が2コア4GBで、使用時間が100時間に到達すると、段階価格の第二段階に進みます。このとき構成を1コア2GBに調整すると課金は1コア2Gの第一段階から計算されます。
- 従量課金の支払い延滞メカニズムに変更はありません。 [従量課金の支払い延滞メカニズム](#) をクリックして確認してください。
- 従量課金のCVM割引を受けません。
- 条件に該当する場合、従量課金インスタンスのシャットダウン後のインスタンス (CPU、メモリ) 料金は課金されません。具体的には [従量課金の停止済みインスタンスの非課金化説明](#) をご参照ください。

停止済みインスタンスの非課金化期間は、インスタンスは三段階の段階価格の計算時間の累計を一時停止します。インスタンスを再起動すると、シャットダウン前の三段階の段階価格の計算時間の累計を継続します。

- 停止済みインスタンスの非課金化の条件に該当しない場合は、シャットダウン後も通常どおり課金されます。

購入説明

最終更新日：： 2023-02-08 15:45:18

本節では、主にCVMを公式サイトから購入する方法と購入に関する考慮事項について説明します。
CVMを購入するには、CVM購入ガイドをご参照ください。

- [Windows CVMの作成](#)
- [Linux CVMの作成](#)

購入制限

最終更新日： 2025-11-05 11:58:32

CVMインスタンスを購入する前に、Tencent Cloudアカウントの実名認証を行う必要があります。実名認証が済んでいないユーザーはCVMインスタンスを購入できません。

実名認証の方法：Tencent Cloudの実名認証は個人実名認証と企業実名認証に分けられます。[実名認証の種類](#)を参照し、実名認証を行ってください。

購入制限の詳細

従量課金CVMインスタンスの購入制限

次の機能は、従量課金CVMインスタンスでは利用できません。

- 代理店による立替払い
- 後払い月次決済ユーザー
- Tencent Cloudは、各アベイラビリティゾーン、課金モデル、およびインスタンスタイプに応じて、ユーザーに一定の従量課金CVMインスタンスのクォータを設定しています。詳細は、[インスタンスクォータ](#)ページでご確認いただけます。クォータが実際のニーズを満たせない場合は、[インスタンスクォータの増加](#)を申請してください。

年額/月額プランのCVMインスタンスの購入制限

Tencent Cloudは、各アベイラビリティゾーン、課金モデル、およびインスタンスタイプに応じて、ユーザーに一定の年額/月額プランのCVMインスタンスのクォータを設定しています。詳細は、[インスタンスクォータ](#)ページでご確認いただけます。クォータが実際のニーズを満たせない場合は、[インスタンスクォータの増加](#)を申請してください。

インスタンス購入数クォータの引き上げを申請する

購入を希望するインスタンス数が対応するリージョンのクォータを超過している場合は、クォータの引き上げ申請を行うことができます。Tencent Cloudはお客様の実際のニーズに対して評価を行い、承認後にクォータを引き上げます。[インスタンスクォータの増加](#)をご参照の上、引き上げを希望する購入数クォータの課金モデル、対象のリージョン、希望クォータ、インスタンス構成および申請理由を選択および入力し、申請を提出してください。

ご注意：

複数のアベイラビリティゾーンで申請を希望し、アベイラビリティゾーンごとに希望するクォータが異なる場合は、複数回に分けて申請を行う必要があります。

仕様変更の料金説明

最終更新日： 2025-08-20 11:23:18

Tencent Cloud インスタンスのハードウェアデバイスを簡単かつ迅速に調整することができることは、クラウド上の仮想サーバーが物理サーバーよりも使いやすいという重要な特徴です。

お客様のビジネス負荷が拡大または縮小し、Cloud Virtual Machine (CVM) のインスタンス構成をアップグレードまたはデグレードする必要がある場合は、コンソールで構成を調整することで実現することができます。課金処理後、CVM はすぐに新しい構成で動作します。

- 構成を調整するための前提条件と注意事項については、[インスタンス構成の調整](#) を参照してください。
- 構成を調整する操作ガイドについては、[インスタンス構成の調整](#) を参照してください。

月額課金インスタンス構成のアップグレード

料金ルール

- インスタンス構成のアップグレードは日ごとに差額を補い、アップグレード料金 = 月ごとのアップグレード差額 × アップグレード月数 × [適用する割引](#) となります。
 - 月ごとのアップグレード差額：新旧構成の元値は月ごとの単価です。
 - アップグレードの料金は日ごとに計算される：
 - アップグレードの日数 = リソース有効期限満了時刻 - 現在の時刻
 - アップグレードの月数 = アップグレードの日数 / (365/12)
 - 適用する割引：アップグレードの月数に基づいて公式サイトの適用する割引をマッチングします。そのうち、割引は公式サイトで有効になっている割引です。
- アップグレードは、リソース有効期間の満了時刻に影響しません。
- アップマッチングは、金券やプラットフォームの贈呈残高（贈呈マネー）を使って料金を相殺することができます。

📌 説明：

運営活動のアップグレードポリシーは、月額課金インスタンス構成のアップグレードルールと同じです。即ち、アップグレード料金 = 月ごとのアップグレード差額 × アップグレードの月数 × [適用する割引](#) となります。そのうち、適用する割引は公式サイトで有効になっている割引です。

課金の例

📌 説明：

以下の価格はあくまで例であり、公式サイト上の実際の価格ではありません。インスタンスの単価については、[CVM の価格設定](#) を参照してください。

背景

2022 年 12 月 31 日、2 コア 2 GB RAM の CVM を購入し、年額・月額課金の単価は 16.8 ドルです。

事例一

2023 年 5 月 1 日、2 コア 2 GB RAM の CVM を 4 コア 8 GB RAM にアップグレードしました。そのコンフィギュレーションの単価は月額 44.8 ドル。

- 月ごとのアップグレード差額 = $44.8 - 16.8 = 28$ 月額ドル
- アップグレードの日数 = $31 \times 4 + 30 \times 3 + 30 = 244$ 日
となり、そのうち、4 は 7、8、10、12 の 4 ヶ月、3 は 6、9、11 の 3 ヶ月であり、最後の 30 は 5 月の 31 日から 1 日を引いたものです。
- 適用する割引: 年額・月額課金ルールに従い、月額課金の期間が 6 - 11 ヶ月の場合は、12% の割引を受けることができます。
- アップグレード料金 = $(44.8 - 16.8) \times (244 / (365/12)) \times 0.88 = 197.66$ ドル

月額課金インスタンスコンフィギュレーションのデグレード

料金ルール

インスタンスデグレードの払い戻し金額 = インスタンスの払い戻し費用 - 新規仕様の購入料金

- 払い戻し金額が 0 を超えた場合は、コンフィギュレーションのデグレードは実施され、払い戻し費用は元の支払いルートで払い戻す方式で Tencent Cloud アカウントに払い戻されます。
- 払い戻し金額が 0 以下の場合は、コンフィギュレーションのデグレードは実施されますが、払い戻しは行われません。
- 購入時に割引または金券が使用された場合は、割引または金券の払い戻しは行われません。

そのうち、インスタンスの払い戻し費用の詳細なロジックは以下のとおりです。

インスタンスの払い戻し費用 = 現在有効なオーダー金額 + 未開始のオーダー金額 - リソースの使用済み価値。

- 現在有効なオーダー金額: 有効なオーダーの支払い金額 (割引と金券を除く) を指します。
- 未開始のオーダー金額: これから有効になるオーダーの支払い金額 (金券を除く) を指します。
- リソースの使用済み価値は以下のポリシーに従って計算されます。
 - 使用済み部分 = 使用済み CVM 料金 + 使用済みネットワーク料金
 - 使用済み CVM 料金: ユーザーが払い戻しを請求した日に、CVM が丸 1 ヶ月間使用された場合は、1 ヶ月分の年額・月額課金の価格とそれに対応する公式ウェブサイト上の割引に従って金額を差し引きます。1 ヶ月間未満の場合は、使用した期間分の従量課金の価格に従って金額を差し引きます。公式サイトにおける割引の詳細については、[価格一覧](#) を参照してください。

- 使用済みネットワーク料金：ネットワーク部分の課金タイプに従って計算する必要があります。ネットワークの課金タイプが従量課金の場合は、ネットワーク部分の使用済み料金は 0 です。ネットワークの課金タイプが帯域幅による課金の場合は、使用済みネットワーク料金 = 従量課金の CVM の 1 時間あたりの帯域幅ご料金 × 使用時間となります。
- 使用済み部分は秒単位で計算されます。

課金の例

❗ 説明:

以下の価格はあくまで例であり、公式サイト上の実際の価格ではありません。インスタンスの単価については、[CVM の価格設定](#) を参照してください。

インスタンス払い戻しの事例:

広州六区では、スタンダードS5 2コア 2GB 20GBローカルディスク、帯域幅なし、6.02米ドル/月になります。年額プランの場合、17%オフ、かつ10米ドルのクーポンを利用可能。割引後の金額は、6.02米ドル × 12ヶ月 × 0.83 = 59.96米ドルで、最終の支払金額は、59.96米ドル - 10米ドル = 49.96米ドルになります。

S5の購入日から5日以内、利用時間は48時間です。その期間中に、公式サイトで年額プラン（17%オフ）を更新しました。更新時の支払金額は59.96米ドルです。返金金額 = 49.96（現在有効な注文金額） + 59.96（利用未開始の注文金額） - 0.01（従量課金インスタンスのインスタンス単価） × 48（時間） = 109.44米ドルになります。

料金未払いに関する説明

最終更新日: 2026-03-20 14:13:03

⚠️ ご注意:

Tencent Cloudパートナーのお客様の場合、アカウントの未払い状態における製品リソースの処理ルールは、パートナーとの間で合意されたプロトコルに準じます。

CVM未払いについて

アラート通知について

インスタンスの課金モデル	アラート通知タイプ	説明
サブスクリプション(月額・年額)	期限切れアラート	クラウドリソースは期限切れの7日前、5日前、3日前、1日前および当日に、ユーザーに期限切れアラートを配信します。アラートは、メールおよびSMS経由で、Tencent Cloudアカウントの作成者およびグローバルリソース共同責任者、財務共同責任者に通知されます。
	未払いアラート	クラウドリソースの有効期限当日以降、未払いによる隔離アラートを配信します。アラートは、メールおよびSMS経由で、Tencent Cloudアカウントの作成者およびすべての共同責任者に通知されます。
従量課金	未払いのお知らせ	システムは毎正時に従量課金リソースの決済を行います。アカウント残高が不足しマイナスになった場合、メールおよびSMS経由でTencent Cloudアカウントの作成者ならびにグローバルリソース共同責任者、財務共同責任者に通知されます。
	未払いアラート	本機能はデフォルトで無効です。利用をご希望の場合は、 残高アラートガイド を参照のうえ、購読してください。

⚠️ 注意:

サブスクリプション(月額・年額)タイプのインスタンス向け:

- クラウドサービスリソースは期限切れの7日前から、システムから更新リマインド通知を配信します。
- アカウント残高が十分であり、かつ自動引き落としを設定している場合、インスタンスは有効期限当日に自動的に継続支払いを実行します。

従量課金インスタンス向け:

- 従量課金リソースの利用を終了した場合、**た不要な課金の発生を防ぐため、速やかに破棄してください。**
- インスタンスが破棄/回収された後、データは削除され、復元できません。
- お客様の実際のリソース消費は変動する可能性があるため、残高アラートには多少の誤差が生じる場合があります。

期限切れ及び未払いの対処

サブスクリプション(月額・年額)のインスタンスが期限切れまたはアカウントの未払いにより、インスタンスがごみ箱へ移動した場合の説明は以下の表の通りです:

インスタンス課金モデル	サブスクリプション(月額・年額)	従量課金
回収メカニズムおよび未払いへの対応	有効期限まで(期限当日を含む)にCVMの継続支払いが行わなかった場合、システムは期限切れ後約 48時間以内 にサービス停止処理(デバイスの隔離(シャットダウンせず、データは保持))を実行し、CVMはごみ箱に移動します。	アカウント残高がマイナスになった時点から、CVMは 2時間以内 は引き続き利用可能で、課金も継続します。 2時間後に自動的にシャットダウン され課金も停止し、CVMはごみ箱に移動します。 
料金説明	<ul style="list-style-type: none"> ● CPU、メモリは課金対象外です。 ● 従量課金CBSはサービス停止後は利用不可となります。データのみ保持され、完全に削除されるまで通常の料金基準で課金が継続されます。 ● ネットワーク課金モデルが後払いの時間単位帯域幅または時間単位トラフィック課金の場合、未払いが発生してから2時間以内は、引き続き利用可能ですが、その間課金も継続されます。2時間経過すると、サービスが停止されます。 	
保持期間	ごみ箱に入ってから 15日間	
復元可能期間	保持期間内であれば、ごみ箱内のインスタンスに対して、継続支払いで復元が可能です。 <div style="border: 1px solid #00a0e3; padding: 5px; margin-top: 10px;">⚠ 注意: 継続支払いで復元されたインスタンスの契約期間は、前回契約期間</div>	保持期間内にアカウント残高を0以上にチャージすると、課金が再開され、インスタンスを起動して利用できます。

	の満了日から起算されます。
期限切れへの対応	<p>保持期間を超過すると、以下のリソースは自動的に解放されます：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通常のパブリックIP ● CPU、メモリ ● 非エラスティックCBSおよびデータ <p>警告：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アカウントの未払いによるエラスティックCBSおよびEIPに与える影響については、CBS未払いに関する説明 および EIP未払いに関する説明 をご参照ください。 ● CPU、メモリおよびCBSデータは解放されると、データは復元できません。事前に スナップショットの作成 または カスタムイメージの作成 を行うことで、データバックアップが可能です。
関連付け	CVMがごみ箱に入った後、CLB、エラスティックCBS、ベーシックネットワークとの関連付けを一定期間内に自動的に解除しません。
操作制限	<p>ごみ箱内のインスタンスでは、インスタンスの継続支払い、インスタンスの破棄/返却 および イメージ作成（特殊タイプを除く）操作のみ可能です。</p> <p>注意：</p> <p>ごみ箱に入った従量課金インスタンスは、アカウントが未払いの場合、復元操作はできません。まずは継続支払いを行ってください。</p>

パブリックネットワーク帯域幅の未払いに関する説明

従量課金ネットワーク

アラート通知について

アラートタイプ	説明
残高アラート	トラフィック消費の変動が大きくて予測が困難なため、システムは残高アラートを提供していません。
未払いアラート	残高がマイナスになった時点から、2時間以内はトラフィック課金ネットワークを引き続き利用可能で、アカウントの課金も継続します。2時間後にサービスは停止します。

残高が0以上にチャージされると、サービスは復元されます。ネットワーク設定を確認し、影響を受けたホストとCLBの関連付けを復元してください。

⚠ 注意:

トラフィック課金の詳細については、[パブリックネットワーク課金モデル](#)をご参照ください。

未払いへの対応

- 通常のパブリックIPの場合、未払い処理は上記の [従量課金インスタンス](#) と同様です。
- EIPの場合、未払い処理については [EIP未払いに関する説明](#) をご参照ください。

月額制帯域幅ネットワーク

- 通常のパブリックIPの場合、未払い処理は上記の [サブスクリプション\(月額・年額\)CVM](#) と同様です。
- EIPの場合、未払い処理については [EIP未払い説明](#) をご参照ください。

カスタムイメージ未払いに関する説明

- アカウントが未払い状態の場合、カスタムイメージ機能は停止され、新しいカスタムイメージを作成できません。
- アカウントが未払い状態になると、カスタムイメージに関連付けられたスナップショットのうち、**無料枠を超過した分について、課金が継続されます**。カスタムイメージに関連するスナップショットが削除されるまで、この課金は継続します。削除操作が行われない限り、イメージのスナップショットは永続的に保持されます。
- カスタムイメージを削除すると、データは復元できなくなります。